

野辺地町の教育

令和6(2024)年度



町のシンボル常夜燈と虹

野辺地町教育委員会

発行にあたって

野辺地町教育委員会
教育長 小野 淳美

野辺地町では、令和3年3月に策定された「第6次野辺地町まちづくり総合計画」に基づき、町の将来像である「未来につながる幸せのまち のへじ」の実現に向け、様々な施策を推進しています。

一方、野辺地町教育委員会においては、令和2年2月に令和2年度から令和6年度までの町教育振興の基本的な指針となる「第3期野辺地町教育振興基本計画」を策定しました。

教育行政は、学校教育、社会教育・スポーツ、歴史・文化・芸術と多岐にわたりそれぞれの課題が山積しております。昨今の教育環境の急激な変化へ対応していくため、今年度の主要事業をまとめ、掲載しております。

野辺地町では「大人」も「子ども」も共に学ぶ町として、乳幼児から高齢者、障害を持つ方、町民すべてが学ぶことができる場の拡充と充実に努めています。

「人は町にとっての「財(たから)」である」ことを基本的な考え方として町や教育委員会のみならず、家庭・地域・各種団体と連携し、地域全体で「教育の町 のへじ」の更なる発展を目指しながら、社会情勢に対応した教育の振興を図って参ります。

この冊子が関係各位の野辺地町の教育行政に対する御理解の一助となり、なお一層の御支援・御理解を賜りますようお願い申し上げます、発刊の言葉といたします。

目 次

第1章 教育施策の基本方針

令和6年度野辺地町教育施策の基本方針	5
--------------------	---

第2章 学校教育

第1節 学校教育指導の方針と重点	8
------------------	---

第2節 学校紹介

野辺地小学校	12
若葉小学校	13
野辺地中学校	14
県立野辺地高等学校	15
八戸学院野辺地西高等学校	16

第3章 社会教育・スポーツ

第1節 社会教育・スポーツ行政の方針と重点	18
-----------------------	----

第2節 社会教育・スポーツ施設

中央公民館	22
馬門公民館	22
図書館	23
有戸地区学習等供用センター	23
勤労青少年ホーム	24
青少年体育センター	24
町立体育館	25
運動公園	25
屋内温水プール(サン・ビレッジのへじ)	26
あったかハウスまかどの森	26
まかどスポーツセンター	27

第4章 歴史・文化・芸術

第1節 歴史・文化・芸術行政の方針と重点	29
第2節 歴史・文化・芸術施設	
歴史民俗資料館	30

第5章 教育委員会の組織

第1節 教育委員会委員	32
第2節 事務局の組織	32
第3節 教育機関の組織	34
第4節 各課・館の事務分担	
学校教育課 事務分担	35
社会教育・スポーツ課 事務分担	38
中央公民館 事務分担	40
図書館 事務分担	41
歴史民俗資料館 事務分担	42

第1章

教育施策の基本方針

令和6年度野辺地町教育施策の基本方針

令和6年度

野辺地町教育施策の基本方針

野辺地町教育委員会は、町民憲章に掲げる「烏帽子岳のような誇り高い文化と教育の町」を目指すため、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。このため、

・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

これら3つの調和がとれた学校教育

・一人一人の学習活動の充実と社会参加を実現し、

学校・家庭・地域全体で子供を育む社会教育

・活力、健康、感動を生み出し、

さらには次代を担う人財を育成するスポーツ

・郷土に根ざした歴史・文化・芸術の保存と活用及び継承

を町民、行政、教育委員会が各種関係機関と協働しながら、「人財」育成を推進します。

1 基本理念

町が目指す子供の姿

世界へ漕ぎ出す、知恵の波が満ちる十符ヶ浦のような

かしこい 野辺地っ子（知）

- ・知に対する興味関心が高く、高い学習意欲を持つ子
- ・主体的に学習に取り組み、対話をしながら仲間とともに学習する子
- ・自ら課題を見つけ、探求的に学習する子
- ・知識を活用できる手段と方法を身に付ける子

季節の彩りを楽しませ、心を和ませる愛宕山のような

やさしい 野辺地っ子（徳）

- ・自らの存在を大切にすると共に、相手を思いやる心を持つ子
- ・道徳的な判断力、心情、実践意欲を身に付け、態度に表せる子
- ・自ら生まれた郷土を愛し、慈しめる子

風雪に負けることなく、どっしりとした烏帽子岳のような

たくましい 野辺地っ子（体）

- ・運動に親しみ、体力の向上を図る子
- ・健康に関する知識を身に付け、積極的に健康な生活を送ろうとする子
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける子
- ・安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保できる子

時代の流れに沿って進み、涸れることのない野辺地川のような

しなやかな 野辺地っ子（柔）

- ・自ら持っている知識・技能を活用し、よりよい社会を創ろうとする子
- ・学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら学習に取り組む子

2 基本目標 『郷土をますます愛し育む「人財」を育てる』

3 重点目標 命の保障

学力の保障

基本的生活習慣の定着

インクルーシブ教育の充実

第2章

学校教育

第1節 学校教育指導の
方針と重点

第2節 学校紹介

第1節 学校教育指導の方針と重点

個を生きし、生きる力と夢を育む学校教育

1 方針

知、徳、体の調和のとれた児童生徒を育成するため、当町の豊かな自然や伝統・文化を生かした学習を取り入れながら、子どもたちが郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く児童生徒の育成に努める。

2 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等において、確かな学力を身に付けることができるよう、目指す資質・能力を明確にするとともに、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 「わかる授業」のための授業実践、「知的に楽しい授業」のための授業実践

イ 「わかる授業」のための教材研究、「知的に楽しい授業」のための教材研究

ウ 新しい知識・技能の獲得とその活用を基にした主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善

エ 一人一人の学習の過程や成果の的確な把握と指導の改善につながる評価の工夫

オ 学校図書館やICTの日常的・効果的な活用により、子どもの学びをさらに充実させる学習環境づくり

【令和6年度主要事業】

○教育支援員の配置(4月～)

○教材研究研修会の開催(8月)

○小学校社会科副読本(令和3年3月発刊)の活用

○理科支援員の配置(継続)

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通じて道徳的实践力の育成に努める。

ア 「道徳的实践力を育成する授業」のための授業実践

イ 「道徳的实践力を育成する授業」のための教材研究

ウ 道徳的实践力と道徳的实践の指導が相互に響き合う道徳教育の推進

エ 郷土を愛する心を育む指導の充実

オ 子どもの成長の様子継続的な把握と、指導の改善につながる評価の工夫

【令和6年度主要事業】

○家庭、地域との連携の推進

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくこ

とができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

- ア 話し合いを生かし「次の課題解決」や「よりよい自分」につなげる学級活動の充実
- イ 個性の伸長とよりよい人間関係を構築するための工夫
- ウ 自発的・自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫
- エ 特別活動のねらいと意義を明確にした指導の充実と創意工夫を生かした学校行事

【令和6年度主要事業】

- 大会派遣費の補助
- 小・中学校作品展及び小・中学校音楽交歓会の開催(10月)

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体として捉え、健やかな体を育む教育の推進に努める。

- ア 自他の生命尊重を基盤とした危機対応能力の育成
- イ 運動に親しむ資質・能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実
- ウ 健康に関する知識を身に付け、健康な生活を積極的に実践できる指導の充実
- エ 食に関する指導の充実

【令和6年度主要事業】

- 社会教育との連携による町の「いのちの出前講座」などの活用(小学校)
- 「バイキング給食の日」の実施
- 栄養教諭による学校訪問指導
- 学童スキー大会の開催(2月)

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、健やかに成長することができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調として支えるとともに、問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。

- ア 道徳科をはじめ他教科との連携を図りながら、自己充足感・自己肯定感を高め、「楽しい学校」づくりを目指した全教育活動の推進
- イ 生徒指導上の実践の視点を意識した授業や学年・学級経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解を深める積極的な教育相談と情報共有の充実
- エ 不登校や問題行動等に対する協働的な指導体制の充実
- オ いじめの積極的な認知及び児童生徒が主体となるいじめ防止活動の推進と組織的な対応の徹底

【令和6年度主要事業】

- 教育相談室、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの活用及び関係機関との連携
- 学校訪問による伴走型支援(指導室、町相談室、SSW)
- 不登校・いじめ等に係る状況調査と対応
- 保護者及び学校との連携を密にした町教育相談室(こかぶ)教室の運営

(6) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。

- ア 学級活動をキャリア教育の要として位置付けた指導計画の見直しと指導体制の整備・充実
- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた社会参画の意識の醸成、勤労観・職業観の育成

【令和6年度主要事業】

- 小・中学生職場体験の支援
- 学力向上支援事業（高校生短期講座の開催）（7月・12月）

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもなど特別な配慮を必要とする子どもが、障害等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、その持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実
- イ 個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成と活用、支援員も含めた全職員の共通理解、関係機関と連携した指導・支援の充実
- ウ 目的や評価を明確にした組織的、計画的、継続的な交流及び共同学習による相互理解の促進

【令和6年度主要事業】

- スクールサポーターの配置（継続）
- 特別支援教育についての研修機会の充実
- 北部上北地域における通級指導・教育相談の運営（若葉小「ことば・まなびの教室」）
- 町内小・中学校での通級指導の機会の充実（野辺地中学校、若葉小学校）

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間との関りについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の関連を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境に係わる体験活動の充実

【令和6年度主要事業】

- 社会教育との連携による「ハッチョウチョウトンボ観察会」などの活用（小学校）
- エネルギー教室の開催支援

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

【令和6年度主要事業】

- 英語で元気なまちづくり事業(ALTの配置)(小学校担当1名、中学校常駐1名)
- 家庭や地域社会と連携し、ふるさと学習やPR活動など、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の研究・推進への支援

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報モラルを含む情報活用能力を身に付けることができるよう、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 情報活用能力の育成に向けたICT活用の推進
- ウ 計画的・継続的な「情報モラル教育」の実施

【令和6年度主要事業】

- 小・中学校ICT環境の充実
- ICT支援員の配置(継続)
- 教職員ICT活用研修(各校ごとに年度初めに実施)

(11) 研修の充実

教職員の資質の向上(人財育成)のため、県教育委員会から示されている「教員の資質向上に関する指標」を参考にしながら、学び続ける向上心を持ち、より良い実践を追い求める教員の育成に向けた研修の充実に努める。

- ア 教職員の資質の向上を図る研修の推進
- イ 教材研究の深化を基盤とした日常的な学び合い、指導力を高め合う校内研修体制の整備・充実
- ウ 学習指導要領に基づく実践的研究の充実
- エ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実

【令和6年度主要事業】

- 教職員ふるさと研修の開催(7月)
- 特別支援教育やスクールサポーターへの研修の開催

(12) 教育環境の充実

- ア 安全・安心な学校づくりの推進
- イ 小学校統廃合に向けた具体的な取組

【令和6年度主要事業】

- 統合小学校新築に向けた耐力度調査及び基本設計業務の実施
- 学校給食費負担軽減事業
- スクールバス購入事業

第2節 学校紹介

●野辺地小学校● (明治6年9月27日創立)



〒039-3118
所在地 野辺地町字寺ノ沢 42-4
☎ 0175-64-2271
Fax 0175-64-1600



校章は「若菅（わかすげ）」を形取ったもの。未来を担う子供たちが、すくすく伸びる若菅のように健やかに成長してほしいという願いが込められている。

1 概要 (令和6年4月1日現在)

児童数：209名
学級数：10学級(特別支援学級2含む)
教職員数：31名(スクールサポーター等含む)

2 経営の方針

創立151年というこのタイミングを《新・野辺地小学校》再生への契機として、『野辺地の野辺地小学校』という自負・歴史・伝統を最大限に生かしながらも、わかりやすく、フットワークのよい教育活動を推進し、【児童ファースト】を最優先に、登校時の期待感と下校時の満足感を保障する学校生活の創造を目指し、子供たち・保護者・地域の皆様とともに、更なる飛躍を志します。

3 具体的な教育活動

(1) 学習指導 ～まなびふかく～

- ・思考力・判断力・表現力向上を目指した言語活動
- ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着、活用
- ・ねらいとまとめ、振り返りを重視した授業
- ・望ましい学習態度や習慣の育成
- ・「知的に楽しい授業」実践
- ・話し合いの場の工夫
- ・ICTの有効活用

(2) 道徳教育 ～こころゆたかに～

- ・夢や志の育成
- ・正しい規範意識の醸成
- ・家庭や地域との連携、協働
- ・特別の教科「道徳」の時間の充実
- ・道徳的实践力と実践の有機的リンク
- ・重点項目：親切、思いやり、あいさつ、言葉遣い

(3) 生徒指導 ～くらしすこやか～

- ・いじめ、不登校を生まない学校風土の醸成
- ・相手意識をもったあいさつ、言葉遣い
- ・互いのよさを認め合う評価の工夫
- ・交流やボランティア活動の推進
- ・個に応じた教育相談の工夫
- ・勤労観、職業観の育成
- ・キャリア教育の充実

(4) 特活指導 ～なかまたのしく～

- ・縦割活動の充実
- ・望ましい人間関係の育成
- ・集団構成員の自覚と責任感
- ・夢や自己実現を目指す態度育成
- ・自己有用感を高める体験活動の重視
- ・学校生活の充実と向上に向けた話し合い活動

4 今年度のキャッチフレーズ

～ピンチは チェンジの チャンス～

●若葉小学校● (昭和30年4月1日創立)



〒039-3111
所在地 野辺地町字石神裏16番地

TEL 0175-64-0817
FAX 0175-64-1880



1 概要 (令和6年4月1日現在)

児童数 男子94名 女子123名 合計217名
学級数 11学級 (うち特別支援学級3)
教職員数 32名 (うちスクールサポーター7名)

2 経営の方針

「元気いっぱい」「学びいっぱい」「やさしさ・夢いっぱい」で
笑顔あふれる学校

3 重点項目

	教育課題	合言葉	内容
体	【強く】 たくましさの育成	元気プロジェクト	1 体力の向上を図る指導 2 保健指導 3 安全指導
知	【正しく】 確かな学力の育成	学びプロジェクト	1 学びを実感できる授業 2 基礎学力の向上 3 読書活動
徳	【美しく】 思いやる心の育成	やさしさ・夢 プロジェクト	1 道徳教育 2 生徒指導 3 特別活動

4 具現化のための意識 ~ こどもまんなかのための「きょうかん」を意識して ~

- (1)「共感」 教職員が、互いの思いや立場に共感し合う
子供たちの心に寄り添い共感し合う
保護者や地域の思いに共感し合う
- (2)「響歎」 学ぶ喜びを学校・家庭・地域に響かせ、分かち合う
- (3)「協貫」 共通の目標を貫くため、常に協力する



●町立野辺地中学校●

(昭和22年4月1日創立)

〒039-3101

所在地 野辺地町字浜掛 11-5

☎ 0175-64-2225

Fax 0175-64-1900



I 概要 (令和6年4月1日現在)

生徒数 233人

学級数 11学級

教職員数 教職員22人 事務員2人 用務員2人 スクールサポーター1人

PTA 事務員0人 合計 27人

II 目指す学校経営

経営方針

《将来の社会的自立に向けた基盤づくり》

【振る舞う力】自己表現力、他者を思いやる心

【折り合う心】コミュニケーション能力、合意形成能力

の向上を図った教育活動を推進

III 学校経営の重点

- 1 教育目標がめざしている生徒の育成のために、教師自らが研修・修養に努め、謙虚に自己の人間性を深めながら、それぞれの持ち味を生かし生徒の指導にあたりたい。
- 2 学校のすべての教育活動は、教育目標の具現化をめざすものであり、その実践母体は学級・学年経営、教科経営、分掌経営であるという認識に立ち、リーダーが核となる組織的、計画的、系統的、継続的な教育活動を組織したい。
- 3 生徒同士のふれあいや生徒と教師とのふれあいをもとに、生徒との共感的な人間関係の構築に努める。また生徒一人一人のよさを認め、鍛え上げ、自信と意欲をもって諸活動に参加できる生徒を育てたい。生徒、保護者、地域と距離感が近い学校でありたい。
- 4 教育課題に取り組み、到達状況の評価を行い、将来を見据え、保護者・地域の理解を得た上で最善の策を断行したい。
- 5 生徒指導は、教師の共通行動を全校体制とし、生徒との信頼関係を最大の基盤にしなが、いじめなど自己中心的な行動には毅然とした態度でのぞむ。不登校や特別な支援を要する生徒へは生徒個々の状況に合わせたきめ細かな対応を行う。アンテナを高くはり、生徒の変容を感じ取れる教師であってほしい。
- 6 経営方針についての理解と協力を得て教育効果を高めるために、保護者・地域との連携をさらに深めるとともに、小学校との交流と連携、関係機関との連携など積極的に学校を開く。

●野辺地高等学校● (大正14年12月18日創立)



〒 039-3157
所在地 野辺地町字松ノ木106-1
TEL 0175-64-2266
FAX 0175-64-8011



1 概要 (令和6年4月1日現在)

生徒数：男子47名 女子50名 合計97名

学級数：6学級

教職員数：31名

2 綱領

質実剛健 自治協同 能率増進

3 教育目標 (スクールミッション)

- (1) 心身ともに健全でたくましく、もっと知りたいという好奇心を持ち、将来の目標に向かって積極的に学び続ける生徒を育成する。
- (2) 社会を構成する一員としての協働性やコミュニケーション力を養い、他者への思いやりを忘れず、社会の秩序を守り、自己の責任を果たそうとする生徒を育成する。
- (3) 課題解決に向けた探究力を身につけ、郷土に誇りを持ち、主体的に未来を切り拓く、地域社会に貢献できる生徒を育成する。

4 学校経営の重点目標

新学習指導要領の趣旨を生かしたカリキュラムを編成し、全ての教職員が一丸となって、生徒、保護者及び地域から信頼される魅力ある学校づくりを行う。

(1) 学習指導・研修の充実 →「師弟同行」

- ア 深い教材研究に基づき「何ができるようになるのか」を明確にした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。
- イ 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点から、学習内容を明確にし、生徒の学習意欲を喚起し、生徒一人一人の特性を踏まえた分かる授業を実践する。
- ウ 校内外の研修に参加し、生徒を指導するスキルを高めるための自己啓発に努める。

(2) 生徒指導・教育相談の充実 →「掃除と挨拶、5分前」

- ア 家庭との信頼関係を基本に、いじめ、問題行動及び不登校の未然防止・早期発見・早期対応を行う。
- イ 積極的に清掃に取り組み、容儀・挨拶を大切にし、5分前行動を行える生徒を育成する。

(3) キャリア教育・健康教育の充実 →「22世紀まで生き抜く力」

- ア 地域の協力を得ながら、望ましい勤労観・職業観を育成し、学ぶことと自らの将来とのつながりを見通した上で社会的・職業的自立を促し、生徒一人一人の進路志望を実現する。
- イ 生命を慈しみ、他者を思いやる心を育成するとともに、健康と体力の増進を図り、健全な生活を営む能力と態度を育成する。

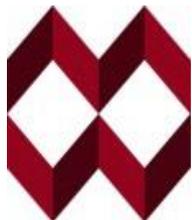
(4) 職場環境の整備 - 働き方改革の推進と非遵行為の根絶 →「魅力的な教職員」

- ア 心理的安全性を確保し、教育成果を最大限に発揮できる環境づくりに一人一人が努める。
- イ 業務内容とワークライフバランスを見直し、活力あふれる澁刺とした姿で生徒に接する。
- ウ 教育公務員としての使命と責任、そして誇りを常に意識し、法令遵守を徹底する。

(5) 地域との連携 - 地域・保護者・教職員の総力による教育活動の展開

- ア 地域・保護者への積極的な情報発信に努める。
- イ 地域と連携した教育活動を整理し、さらに推進する。

●八戸学院野辺地西高等学校● (昭和48年4月1日創立)

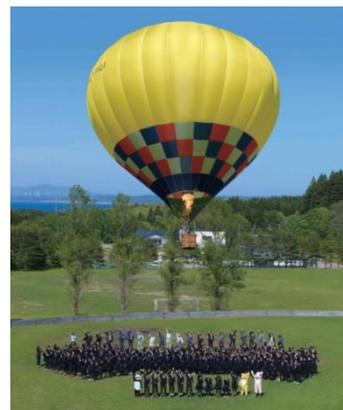


〒039-3156

所在地 野辺地町字枇杷野 51-6

TEL 0175-64-4166

FAX 0175-64-6220



1 概要 (令和6年4月1日現在)

生徒数：男子140名 女子25名 合計165名

学級数：7学級

教職員数：28名

2 教育方針 (学校法人光星学院建学の精神)

本学院は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、学術・技芸を授けるとともにカトリック精神に基づき、道徳教育を施し、人格の完成を目指し、時代の要請する有能な人材を育成する。

3 教育目標

21世紀の日本を担う創造性の高い人材の育成を目指し、私学教育の独自性に取り組み「特色ある学校」としての教育活動の充実と向上を促し、生徒一人一人の個性を十分に育てる。

4 学校経営方針

1. 生徒が何事にも挑戦し失敗を繰り返しながらも目標達成に向かう学校。
2. 教職員が生徒の気付き、学び、実践を全力で後押しする学校。
3. 地域に愛され、地域の高校として必要とされる人材を育み、地域と共に成長できる学校を目指し、「夢と感動の実現」をモットーに様々な活動に取り組む学校。

5 教育活動

本校は、自分の能力、適性、進路希望に合わせて幅広い分野から科目を選択して学習できる総合学科高校です。教養進学系列は、大学進学へ向けた科目のほかに、就職に役立つ商業、情報の科目、さらにスポーツ選択や英会話など独自の学校設定科目を開講しています。保育福祉系列は、保育と社会福祉の基本を学ぶ科目を開講しています。産業技術系列は、自動車の専門に関する科目を開講し、国家資格取得にもつながる知識と技術を学ぶことができます。また、法人上級学校である八戸学院大学、八戸学院大学短期大学部と「高大連携事業に関する協定書」を交わしており、特別聴講学生として履修した単位が認定される特典もあります。

また、オンラインシステムを活用して直接外国人講師から語学指導を受けるなど、グローバル教育にも力を注いでいます。スポーツ進学系では、八戸学院大学と連携し、将来を見据えて独自のスポーツ選択科目も開設して、文武両道を目指しています。

八戸学院野辺地西高等学校 総合学科

教養進学系列

- ・教養進学系
- ・スポーツ進学系

保育福祉系列

産業技術系列



八戸学院大学



八戸学院大学短期大学部



第3章

社会教育・スポーツ

第1節 社会教育・スポーツ行政の
方針と重点

第2節 社会教育・スポーツ施設紹介

第1節 社会教育・スポーツ行政の方針と重点

一人一人の学習と社会参加を実現する社会教育
活力と感動を生み出すスポーツの充実

1 方針

社会教育部門では、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動の充実、生涯学習・社会教育事業の実践者やコーディネーターなど地域活動にかかわる人材の発掘・育成・資質の向上に努める。

スポーツ分野では、健康や交流を目的に幅広い参加をめざしたスポーツプログラムの充実や選手強化・ジュニア期からの選手育成、さらには国内外での活躍をめざす一方で気軽に親しめるよう総合型地域スポーツクラブの設立に向け検討を図りながらスポーツの推進に努める。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の協働による教育力の向上

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、連携・協働して子どもを育む仕組みづくりや教育活動の充実に努めます。

1. 学校と地域の協働による教育活動の促進
2. 家庭教育支援の充実
3. 家読の推進と子どもの読書活動の充実
4. 青少年の体験活動の充実
5. 「家族ふれあい読書デー」の実施

【令和6年度主要事業】

- | | |
|------------------------------|--------------|
| ○青少年育成町民会議(年2回) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○県青少年健全育成推進員(あいさつ運動ほか) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○家庭教育推進事業(幼・保・小・中学校保護者対象) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○いのちのお話出前講座(10月 小学4年生・保護者対象) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○子ども会事業(通年 小学1年~中学生対象) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○図書館サークル・おはなしボランティアの育成 | 〈図書館〉 |

(2) 活力ある接続可能な地域づくりに向けた人材の育成

豊かで住みやすい地域社会と活力ある接続可能な地域コミュニティに向けて、地域活動に主体的に取り組む人材の発掘及び育成に努めます。

1. 地域活動の実践者及びコーディネーターの養成
2. 次代の地域を担う人材の育成
3. 様々な団体や地域との交流による団体間ネットワークの構築支援

【令和6年度主要事業】

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ○生涯学習大学(7月~12月 成人対象) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○在学青年ボランティア活動(通年 高校生対象) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○子どもの読書活動の充実 | 〈図書館〉 |

おはなし工房、読書マラソン、出前おはなし会、読書deスタンプラリー、こどもの読書週間等行事、のへじふるさとカルタ大会、読書感想文コンクール(後援)、わんぱく図書館だより「わくわく」・図書館通信「ティーンズ」発行

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

高齢者や障がいのある方を含む町民一人一人の主体的な学習活動の充実と、学びの成果を様々な地域活動へ生かすことのできる社会参加活動の支援の充実に努めます。

1. 町民一人一人の多様なニーズに応じた学びの場の拡充と充実
2. 学習成果を生かした社会参加活動の支援

【令和6年度主要事業】

○のへじ元気講座(6月～12月 成人対象)	〈社会教育・スポーツ課〉
○ハッチョウトンボ観察会(7月 小学3年生対象)	〈社会教育・スポーツ課〉
○町文化賞、教育委員会文化賞の表彰(2月)	〈社会教育・スポーツ課〉
○みんなの教室(4月～3月 高校生以上対象)	〈中央公民館〉
○野辺地町文化祭(芸能部門10月、展示部門11月)	〈中央公民館〉
○二十歳を祝う会(1月)	〈中央公民館〉

(4) 社会教育推進のための基盤整備

乳幼児から高齢者、障がいを持つ方を含む町民一人一人が気軽に学習できる場の実現のため、社会教育推進基盤の整備・充実に努めます。

1. 社会教育委員等と連携した、社会教育推進体制の充実及び普及
2. 社会教育関係職員の養成と資質の向上
3. 社会教育関係団体等の活動の支援
4. 実施計画に基づいた社会教育施設の設備改修及び機能の充実
5. 障がいを持つ方に対応したバリアフリー対策の充実

【令和6年度主要事業】

○各種会議の開催・・・社会教育委員会議(年2回)、中央公民館運営審議会(年2回)、馬門公民館運営審議会(年1回)、図書館協議会(年2回)、文化財保護審議会(年2回)青少年育成町民会議(年2回)	
○生涯学習カレンダー(行事情報の提供)	〈社会教育・スポーツ課〉
○社会教育団体の支援 子ども会育成連絡協議会、連合PTA、文化少年団、みんなの教室運営委員会、文化振興協議会の活動支援	
○勤労青少年ホーム事業及び施設管理運営(通年)	〈社会教育・スポーツ課〉
○馬門公民館事業及び施設管理運営(通年)	〈馬門公民館〉
○有戸学習等供用センター管理運営(通年)	〈社会教育・スポーツ課〉
○親子ふれあい読書の奨励 ブックスタート事業、ブックスタートプラス、ヨチヨチおはなし会	〈図書館〉
○学校等と連携協力した読書活動の推進 「朝の読書」読み聞かせ、図書館見学、調べ学習、インターンシップ、団体貸出、図書配本、青森県立図書館図書セット巡回配本、家読の推進	〈図書館〉

(5) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

町民の心身両面にわたる健康の維持増進と体力の向上を図るとともに、町民スポーツの普及・奨励に努めます。

1. 子どもを取り巻くスポーツ環境の充実
2. 高齢者及び障がいを持つ方のスポーツ活動の推進と振興
3. 生涯にわたるスポーツ活動の推進

【令和6年度主要事業】

- | | |
|--|--------------|
| ○幼児・児童水泳教室開催事業(初級・中級) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○野辺地町スポーツ少年団親善野球大会 兼 野辺地ライオンズクラブ記念大会(4月) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催(7月～) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○青森県民スポーツ・レクリエーション祭への参加・支援(7月) | 〈社会教育・スポーツ課〉 |
| ○スポーツテスト(体力測定)の実施 | 〈社会教育・スポーツ課〉 |

(6) 競技スポーツの推進

競技選手強化策を充実するとともに、県大会、東北大会、全国大会を誘致するなど、競技力向上の対策に努めます。

1. 各スポーツ団体の育成及び支援
2. 選手の強化・育成のための各種スポーツ教室や大会の開催及び東北大会、全国大会で活躍できる選手や指導者の育成 生涯にわたるスポーツ活動の推進
3. 県大会、東北大会、全国大会規模のスポーツ大会の開催
4. 選手の競技力向上とスポーツ活動推進のための「大会派遣事業」及び「競技スポーツ強化支援事業」の実施

【令和6年度主要事業】

- 町スポーツ賞、教育委員会スポーツ賞の表彰(2月)
- 町スポーツ少年団への支援と育成(通年)
- 町スポーツ協会事務局補助
- 社会体育団体等の支援
県民駅伝競走大会町実行委員会、県小学生スキー大会町実行委員会、町スポーツ少年団、町スポーツ協会、県スポレク祭町実行委員会
- 青森県民駅伝競走大会参加事務及び選手強化支援(9月)
- 第55回青森県小学生スキー大会開催(2月)
- 小・中学校大会派遣事業及び競技スポーツ強化支援事業(通年)

(7) スポーツ環境の整備・充実

町民が気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ環境の整備・充実に努めます。

1. スポーツ推進委員、各スポーツ団体と連携したスポーツ情報の収集と情報提供の実施
2. 総合型地域スポーツクラブの設立に向けた取組の実施
3. 実施計画に基づいたスポーツ施設の設備改修、整備及び機能の充実

【令和6年度主要事業】

- スポーツ推進委員会議の開催及び町各種のスポーツ事業への活用(通年)
- 上十三地区スポーツ推進委員連絡協議会研修会への参加
- 上十三地区地域スポーツフェスティバルへの参加・支援
- 町スポーツの記録収集事務(通年)
- 町出身日本代表選手応援事業(パブリックビューイング等)
- 総合型地域スポーツクラブ設置検討事業
- 学校体育施設の開放事業(通年)
- 運動公園管理運営(4月中旬～10月末)
- 町立体育館管理運営(通年)
- 屋内温水プール管理運営(通年)
- 町営ヒュッテ(あったかハウス「まかどの森」)(12月中旬～3月中旬)
※国有林を借用したクロスカントリーコース含む
- 青少年体育センター管理運営(通年)
- まかどスポーツセンター管理運営(通年)
- 各体育(スポーツ)施設に関する事務事業(改修、修繕、備品購入、有効利用等)

(8) 第80回国民スポーツ大会の開催準備

国民スポーツ大会ハンドボール競技の青森市との共同開催に向け、幹事の町として、青森県実行委員会等と連携し進めます。

1. 国民スポーツ大会の共同開催に向けた関係団体との連携
2. 各競技の普及、競技力向上の推進

【令和6年度主要事業】

- 第80回国民スポーツ大会青森県実行委員会及び開催市町村との連絡調整(通年)
- 国民スポーツ大会先催県視察(佐賀県 10月)



青森県民駅伝競走大会
(町の部 2位)



第54回青森県小学生スキー大会
(女子の部 リレー 5連覇 野辺地クロカン)

第2節 社会教育・スポーツ施設

●中央公民館●

1. 所在地 野辺地町字野辺地1番地15 TEL:64-3054 FAX:64-3604
2. 開館時間 午前8時30分～午後9時 休館日:年末年始
3. 開館年度 昭和51年5月
4. 総事業費 2億3,014万円(防衛庁補助)
5. 施設概要 建築面積:1,098.544㎡ RC造
延床面積:1,782㎡
敷地面積:12,709.05㎡
1階:ホール 第1和室、実習室
2階:会議室 第1、第2、第3
研修室 第1、第2、第2和室



6. 開催行事

- ・みんなの教室(4月～3月)
- ・みんなの教室開講式(4月)、文化祭慰労会(11月)
- ・文化祭芸能部門(10月)、展示部門(11月)
- ・二十歳を祝う会(1月)
- ・各種展示会等



●馬門公民館●

1. 所在地 野辺地町字馬門97番地 TEL・FAX:64-9326
2. 開館時間 午前8時30分～午後9時 休館日:年末年始
3. 開館年度 昭和55年4月
4. 総事業費 1億3,600万円(文部省補助)
5. 施設概要 建築面積:929.6㎡ RC造
敷地面積:2,300㎡
研修室(30人)、和室小会議室(10人)
和室大会議室(150人)、調理実習室(20人)
談話室(30人)



6. 開催行事

- ・馬門公民館教養講座(6月～10月 2講座開設)
- ・コミュニティ文化祭(10月)



●図書館●

1. 所在地 野辺地町字野辺地1番地1 TEL:64-2195 FAX:72-8380
2. 開館時間 午前9時～午後5時 休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始
館内整理日:毎月末日(月曜日を除く平日)
3. 開館年度 昭和60年5月
4. 総事業費 2億1,318万円(文部省補助)
5. 施設概要 建築面積:965.828㎡
閲覧室、視聴覚室、参考図書室

6. 開催行事

- ・ブックスタート
 - ・ヨチヨチおはなし会
 - ・ドキドキおはなし会(11月)
 - ・読書マラソン(7月～8月)
 - ・読書講演会
 - ・おはなし工房
 - ・のへじふるさとカルタ大会
 - ・家系図作成講座(5月～7月)
- ※その他 本の展示、ミニギャラリーなどを開催



●有戸地区学習等供用センター●

1. 所在地 野辺地町字小沢平10番地8
64-2119(教育委員会)
2. 開館時間 午前9時～午後9時
休館日:年末年始
3. 開館年度 昭和59年5月
4. 総事業費 約8,388万円(防衛庁補助)
5. 施設概要 建築面積:400.544㎡ RC造
・保育室・学習室
・集会室・調理実習室・休養室



●勤労青少年ホーム●

1. 所在地 野辺地町字中道20番地I TEL・FAX:64-9657
2. 開館時間 火曜日～金曜日 午後1時～午後9時
土曜日 午前9時～午後9時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
休館日:毎週月曜日 年末年始
3. 開館年度 昭和56年4月
4. 総事業費 約1億5,387万円(労働省補助)
5. 施設概要 建築面積:622.11㎡ 鉄骨造(S造)地上2階
談話コーナー、実習室、軽運動室、講習室、
図書室、音楽室



●青少年体育センター●

1. 所在地 野辺地町字中道20番地I TEL・FAX:64-9657
2. 開館時間 火曜日～金曜日 午後1時～午後9時
土曜日 午前9時～午後9時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
休館日:毎週月曜日 年末年始
3. 開館年度 昭和58年4月
4. 総事業費 約1億3,344万円(雇用促進事業団補助)
平成14年度野辺地町へ譲渡
5. 施設概要 建築面積:899.85㎡
バスケットボールコート、バドミントンコート、
バレーボールコート
6. 利用団体 ・中学校の部活動
・町スポーツ少年団
・町スポーツ協会加盟団体
7. その他 野辺地地区更生保護サポートセンター(管理事務室)



●町立体育館●

1. 所在地 野辺地町字観音林脇10番地 TEL・FAX:64-1459
2. 開館時間 火～土曜日:午前9時～午後9時、日曜日:午前8時～午後5時
休館日:毎週月曜日、年末年始
3. 開館年度 昭和51年11月
4. 総事業費 3億4,039万円(文部省補助)
5. 施設概要 競技場、柔剣道場
構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 2階建て
規模 敷地面積 15,811㎡ 延べ面積 3,418㎡
(体育館 1階 2,453.20㎡ 2階 627.77㎡)
(柔剣道場 337.75㎡)
6. 利用団体
 - ・中学校の部活動
 - ・町スポーツ少年団
 - ・町スポーツ協会加盟団体
 - ・各種大会の開催



●運動公園●

1. 所在地 野辺地町字松ノ木平114番地 TEL・FAX:64-1069
2. 開館時間 午前9時～午後5時 休館日:冬期間(11月～3月)
3. 開館年度 昭和61年4月
4. 総事業費 15億800万円(建設省補助)
5. 施設概要 敷地面積:17.8ha
野球場、陸上競技場、テニスコート、管理棟
多目的広場
6. 利用団体
 - ・中学校、高校の部活動
 - ・町スポーツ少年団
 - ・町スポーツ協会加盟団体



●屋内温水プール サン・ビレッジのへじ●

1. 所在地 野辺地町字下御手洗瀬29番地I TEL・FAX:64-9777
2. 開館時間 火曜日～木曜日・土曜日 午後1時～午後9時
日曜日・祝日 午後1時～午後5時
休館日:毎週月曜日・金曜日、年末年始
月曜日・金曜日が祝日の時は翌日に振り替え
3. 開館年度 平成8年12月20日落成式
4. 総事業費 4億6,130万円(雇用促進事業団補助)
5. 施設概要 敷地面積:4,034㎡ 鉄骨造(一部2F)
建築面積:1,110.76㎡
25mプール6コース、ジャグジー、
幼児向けプール、採暖室、トレーニングルーム
6. 開催行事
 - ・水泳教室の開催(初級6回・中級6回)
対象:幼児(3歳以上)、児童
 - ・健康ウォーターマラソンスタンプラリー(7月～3月)
対象:20歳以上の町民
 - ・河童水泳大会(年1回)
対象:町内小学生(3年～6年)



●あったかハウス まかどの森(スキー場)●

1. 所在地 野辺地町字地続山国有林地内 TEL・FAX:64-0778
2. 開館時間 12月下旬から3月上旬
午前9時～午後5時
ナイターコースは午後7時30分まで
休館日:3月中旬～12月中旬、年末年始
3. 開館年度 平成6年12月
4. 総事業費 1億3,033万円
5. 施設概要 構造 鉄骨造 地下1階、地上2階
規模 敷地面積:585.34㎡
延べ面積:794.07㎡
クロスカントリーコース2km・3km・5km
ナイター設備有(2km)
歩くスキー貸出有(無料)
6. 開催行事
 - ・各小学校スキー教室、小中高校の部活動
 - ・町内学童スキー大会(2月)
 - ・各種スキー大会(ジュニアクロカン1月・フィッシャーカップ3月)
 - ・第55回青森県小学生スキー大会(2月)



●まかどスポーツセンター●

1. 所在地 野辺地町字家ノ上6番地6 TEL:64-2119 FAX:64-3604

2. 開館時間 火曜日～金曜日 午後1時～午後9時
土曜日 午前9時～午後9時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
休館日:毎週月曜日、年末年始

3. 開館年度 昭和61年

4. 総事業費 1億7,524万円(国庫補助)
令和6年度所管替え

5. 施設概要 建築面積:887.2㎡
バスケットボールコート、バレーボールコート

6. 利用団体 ・町スポーツ少年団
・町スポーツ協会加盟団体



第4章

歴史・文化・芸術

第1節 歴史・文化・芸術行政の
方針と重点

第2節 歴史・文化・芸術施設

第1節 歴史・文化・芸術行政の方針と重点

未来に伝える貴重な文化財の保存と活用

1 方針

地域の特色ある文化財や伝統等の保存を図るため、文化財等を活用し文化財保護意識を育み後世に繋がる人財育成に努めるとともに、学校・生涯学習等の各種教育やまちづくりの取組に生かし、郷土に対する愛着心を醸成するための活用を図るなど、地域で保存・継承する心の育成に努める。

また、町民の持続可能な学習活動と社会参加活動のための支援に努める。

2 重点

(1) 郷土を愛する心と人財の育成

郷土の歴史や文化を愛する心を育むため、子どもの頃からふるさとの歴史・文化を身近に

学ぶことができる環境づくりに努めます。

1. 文化財や歴史を活用した教育・活動機会の充実、情報発信
2. 町にある文化・芸術資源を有効活用する取組
3. 各種まちづくり事業や学校教育及び社会教育活動への歴史・文化・芸術の活用を行う体制づくりの検討

【令和6年度主要事業】

- のへじ検定の実施
- 校外学習等を活用したふるさと学習の開催
- 野辺地中学校美術部と連携した縄文くらら活用・PR活動の実施
- 昔のくらし(民俗資料)貸出セットの作成と出前講座の実施

(2) 歴史・文化・芸術の継承と活用

文化・芸術・歴史を後世に継承していくため、民俗文化財、伝統芸能、文化に親しむ環境づくり、人財育成支援、情報発信に努めます。また、活用による新たな価値づくりと継承方法を検討します。

1. 伝統芸能や民俗文化財の継承に向け、鑑賞や体験する機会の充実
2. 伝統芸能や民俗文化財の情報発信と活用
3. 継承方法の検討と担い手人財の発掘及び育成支援

【令和6年度主要事業】

- 祇園・神楽囃子の採譜調査の実施
- 日本遺産等の文化財に関する情報発信、人財育成事業の実施
- 無形民俗文化財・芸能に関する調査と後継者育成支援

(3) 郷土史資料や文化財の保存・活用の促進

郷土の歴史、民俗、産業、自然等に関する資料や地域の特色ある文化財、伝統等を適切に保護・保存するとともに、資料の公開・活用並びに情報発信に努めます。

1. 郷土史資料の調査、収集、保存、公開、活用及び情報発信に取り組むとともに、図書館・資料館の発行する郷土史資料の利活用促進
2. 地域の特色ある文化財等を活用した体験活動の充実

3. 文化財の公有化や史跡案内看板・施設等の適切な修理や整備、充実

【令和6年度主要事業】

- 文化財保護審議会の開催
- 旧野村家住離れ(行在所)夜間特別公開の開催
- 国・県・町指定(登録)文化財や未指定文化財の保護・維持管理
- 県内日本遺産認定3港連携事業(スタンプラリー・まちあるき等)の開催
- 歴史民俗資料館ミニ企画展の開催(1回)

第2節 歴史・文化・芸術施設

●歴史民俗資料館●

1. 所在地 野辺地町字野辺地1番地3 TEL・FAX:64-9494

2. 開館時間 午前9時～午後4時 休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日も)
祝日、年末年始

3. 開館年度 昭和56年度11月

4. 総事業費 9,220万円(文部省文化庁補助)

5. 施設概要 延べ面積:542.46㎡

1階展示室:大地に刻まれた歴史
湊町、野辺地のあゆみ
2階展示室:野辺地の暮らしと祭り

6. 開催行事

- ・企画展の開催
- ・歴史関係団体との共催による普及活動
ふるさと歴史講座、古文書講座
- ・各種ワークショップ



国指定重要文化財



「赤漆塗木鉢」



愛称「縄文 くらら」
(土偶/有戸鳥井平4遺跡出土)

第5章

教育委員会の組織

第1節 教育委員会委員

第2節 事務局の組織

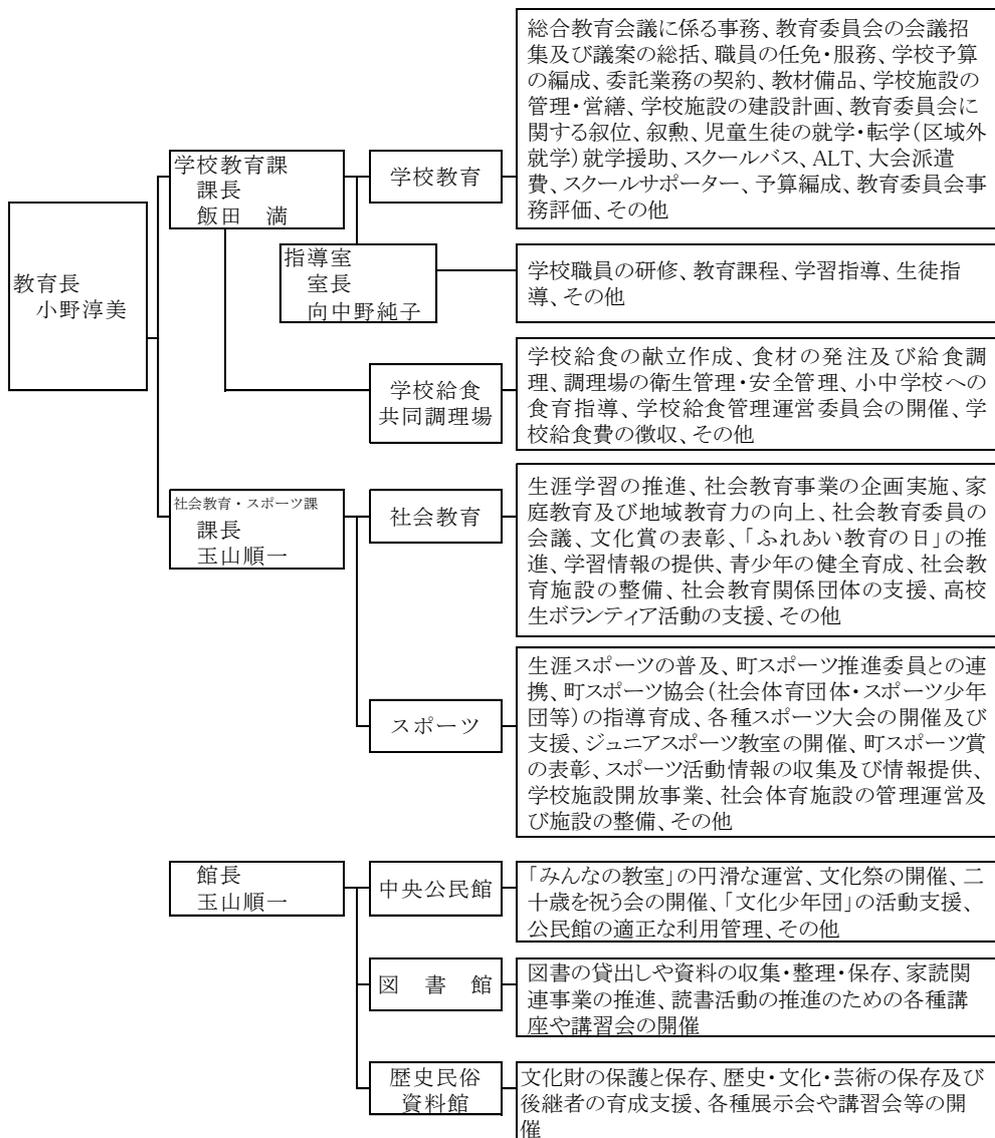
第3節 教育機関の組織

第4節 各課・館の事務分担

第1節 教育委員会委員

役 職	氏 名	任 期
教 育 長	小 野 淳 美	R 6.4.1 ~ R 8.9.30
教育長職務代理者	林 亨	R 2.10.1 ~ R 6.9.30
教 育 委 員	野 坂 幸 子	R 3.12.20 ~ R 7.12.19
教 育 委 員	杉 山 道 彦	R 5.12.20 ~ R 9.12.19
教 育 委 員	亀 田 小 織	R 4.10.1 ~ R 8.9.30

第2節 事務局の組織



教育委員会事務局

令和6年4月1日現在

課・施設	役 職	氏 名	摘 要
学 校 教 育 課	課 長	飯 田 満	
	課 長 補 佐	古 林 輝 樹	
	主 幹	藤 谷 俊 徳	
	総 括 主 査	柴 崎 駿	
	主 査	清 水 目 唯 那	
	主 事	中 村 悠 貴 人	
指 導 室	室 長	向 中 野 純 子	
	主 査	工 藤 萌	
教 育 相 談 室	主任教育相談員	小 川 和 俊	非 常 勤
	教育相談員	横 田 い ず み	非 常 勤
	S S W	沼 山 重 明	
各 小・中 学 校	学 校 用 務 員	野 坂 真 由 美	野 辺 地 小
		横 浜 信 弥	若 葉 小
		横 浜 廣 一 朗	非 常 勤
		山 田 房 子	非 常 勤
		安 田 千 恵 子	野 辺 地 中
		中 村 親 男	野 辺 地 中
	ス ク ー ル サ ポ ー タ ー	氣 仙 瑞	野 辺 地 小
		中 村 咲 千 子	野 辺 地 小
		前 田 智 子	野 辺 地 小
		清 水 目 美 保 子	野 辺 地 小
		高 山 公 美	野 辺 地 小
		太 田 彩 恵 子	野 辺 地 小
		木 村 早 海	野 辺 地 小
		小 山 内 緑 由 紀	野 辺 地 小
		滝 澤 麻 佳	野 辺 地 小
		工 藤 久 美 子	若 葉 小
		四 戸 香 織	若 葉 小
	横 川 美 幸	若 葉 小	
	千 葉 桂 子	若 葉 小	
	松 山 か づ 子	野 辺 地 中	
	教 育 支 援 員	新 渡 幹 夫	
	理 科 支 援 員	藤 田 精 作	非 常 勤
	外 国 語 指 導 助 手 (A L T)	ガセキ・コートニー	野 小、若 小
		ラリス・イザベル	野 辺 地 中
	I C T 支 援 員	坪 さくら	野 小、野 中
		三 橋 一	野 小、若 小
		坂 本 梨 緒	野 小、若 小
早 坂 育 真		若 小、野 中	
学 校 給 食 共 同 調 理 場	所 長	飯 田 満	(兼 務)
	総 括 主 幹	寺 澤 い づ み	
	主 事	宮 平 り つ	
	栄 養 教 諭	小 坂 し げ 子	
社 会 教 育・ ス ポ ー ツ 課	課 長	玉 山 順 一	
	課 長 補 佐	濱 野 裕 子	
	総 括 主 幹	中 山 直 樹	
	主 幹	米 内 山 周 大	
	総 括 主 査	黒 澤 晋 一	
	主 査	野 坂 鳳 真	
	主 査	貝 塚 千 佳	
	主 事	原 田 悠 紀	

課・施設	役 職	氏 名	摘 要
中 公 民 館	館 長	玉 山 順 一	(兼 務)
	館 長 補 佐	濱 野 裕 子	(兼 務)
	総 括 主 査	野 坂 洸 太	
	事 務 員	森 田 明	非 常 勤
	労 務 員	鈴 木 秀 子	非 常 勤
	図 書 館	館 長	玉 山 順 一
館 長 補 佐		濱 野 裕 子	(兼 務)
総 括 主 幹		吉 田 真 希 子	
事 務 員		橋 本 邦 夫	非 常 勤
		上 原 子 明 美	
		山 本 厚 子	
		平 尾 聡 子	
		若 佐 令 子	
		上 野 由 紀 子	
久 保 康 子			
歴 史 民 俗 資 料 館	館 長	玉 山 順 一	(兼 務)
	館 長 補 佐	濱 野 裕 子	(兼 務)
	主 幹	山 崎 杏 由	
	来 館 者 員 受 付 員	鈴 木 幹 人	歴 史 を 探 る 会
		宮 沢 秀 雄	
		畠 山 邦 子	
		駒 井 知 広	
		中 村 等	
八 桁 節 子			
馬 門 公 民 館	館 長	玉 山 順 一	(兼 務)
	管 理 人	柴 崎 民 生	非 常 勤
	事 務 手	荒 川 朋 子	非 常 勤
有 戸 地 区 学 習 等 供 用 セ ン タ ー	管 理 人	四 戸 巧	有 戸 自 治 会
勤 労 青 少 年 ホ ー ム	館 長	玉 山 順 一	(兼 務)
	管 理 人	大 丸 晶 子	非 常 勤
		上 野 義 則	
町 立 体 育 館	館 長	玉 山 順 一	(兼 務)
	管 理 人	相 内 恒 男	非 常 勤
		宍 戸 晶	
		菊 池 康 明	
		横 濱 修 子	
		和 田 牧 子	
屋 内 温 水 プ ー ル	所 長	玉 山 順 一	(兼 務)
	監 視 人	杉 山 勝 利	非 常 勤
		倉 岡 友 希	
		八 木 橋 哲 也	
	管 理 人	土 橋 喬	水 泳 協 会
木 村 淳 子			
運 動 公 園	労 務 手	加 藤 牧 子	非 常 勤
		横 浜 鉄 治	
あ っ た か ハ ウ ス ま か の 森	管 理 人	1 2 月 よ り	非 常 勤

第3節 教育機関の組織

野辺地町教育委員会

学校教育課	
指導室	TEL 64-2119 FAX 64-3604 室長 向中野純子 字野辺地1番地15
学校給食共同調理場	TEL・FAX 64-2886 所長 飯田 満 字下御手洗瀬27
野辺地小学校	TEL 64-2271 校長 木村 典克 FAX 64-1600 教頭 木下 鉄也 字寺ノ沢42番地2
若葉小学校	TEL 64-0817 校長 佐藤 聡 FAX 64-1880 教頭 佐藤 忍 字石神裏16番地
野辺地中学校	TEL 64-2225 校長 桐原 賢哉 FAX 64-1900 教頭 齊藤 保 字浜掛11番地5
教育相談室	字中道20番地1 主任教育相談員 小川 和俊 教育相談員 横田いずみ SSW 沼山重明 TEL 090-2604-9408 FAX 64-9657
野辺地高等学校	TEL 64-2266 校長 小倉 民生 FAX 64-8011 教頭 佐々木伸介 字松ノ木106番地1
八戸学院野辺地西高等学校	校長 橋場 保人 TEL 64-4166 教頭 迫 祐子 FAX 64-6220 字枇杷野51番地6

社会教育・スポーツ課	
馬門公民館	TEL・FAX 64-9326 館長 玉山 順一 字馬門97番地
有戸地区学習等供用センター	TEL・FAX 無 字小沢平10番地8
勤労青少年ホーム	TEL・FAX 64-9657 青少年体育センター 字中道20番地1 館長・所長 玉山 順一
屋内温水プール	TEL・FAX 64-9777 所長 玉山 順一 字下御手洗瀬29番地1
町立体育館	TEL・FAX 64-1459 館長 玉山 順一 字観音林脇10番地
運動公園	TEL・FAX 64-1069 字松ノ木114地内
あったかハウス まかどの森(国有林地)	TEL 64-0778 字地続山地内
まかどスポーツセンター	TEL 64-2119 FAX 64-3604 字家ノ上6番地6
中央公民館	
中央公民館	TEL 64-3054 館長 玉山 順一 FAX 64-3604 字野辺地1番地15
図書館	TEL 64-2195 館長 玉山 順一 FAX 72-8380 字野辺地1番地1
歴史民俗資料館	TEL・FAX 64-9494 館長 玉山 順一 字野辺地1番地3

第4節 各課・館の事務分担

学校教育課 事務分担

課 長 飯田 満
 指導室長 向中野純子
 課長補佐 古林 輝樹

分 掌 事 務	主 担 当 者	副 担 当 者
1. 教育委員会の会議に関する事 2. 教育委員会に関する叙位、叙勲及び褒賞並びに表彰に関する事 3. 校長会及び教頭会に関する事 4. 学校給食に関する事 5. 教育行政の相談に関する事	飯田 満 課 長	古林 輝樹 課長補佐
1. 教育委員会の秘書及び交際に関する事 2. 教育委員会規則、訓令及び告示等の制定改廃並びに法規の調査及び解釈運用に関する事 3. 事務局が処理すべき文書の受発、審査、編さん及び保存に関する事 4. 教育委員会に関する訴願、訴訟、和解、異議申立及び請願陳情に関する事 5. 教育委員会の公印の保管に関する事 6. 事務局内の事務の総合調整及び連絡推進に関する事 7. 教育予算、決算及び経理の総合調整及び連絡推進に関する事 8. 学校職員の任免、服務、分限その他人事に関する事 (事故及び服務規律関係) 9. 学校教育施策に関する事 (学校教育関係機関との連絡調整(町教育振興会、上北地方教育委員会連絡協議会)) 10. その他社会教育・スポーツ課に属さない教育委員会所管の事務に関する事	古林 輝樹 課長補佐	藤谷 俊徳 主 幹
1. 総合教育会議に関する事 2. 教育委員会所轄職員(非常勤特別職の職員を含む)の任免、給与、服務分限その他人事に関する事 3. 学校職員の任免、服務、分限その他人事に関する事 (事故及び服務規律関係除く) 4. 教育施設に関する調査、研究、及び統計に関する事 (地方教育費調査関係) 5. 教育委員会事務評価委員に関する事 6. 学校教育施策に関する事(教育振興基本計画、人材育成、教育連携パートナーシップ関係)	藤谷 俊徳 主 幹	古林 輝樹 課長補佐
1. 教育施設の建設計画に関する事 (統合小学校新築事業、旧馬門小学校利活用事業) 2. 教育施設の営繕、保全の計画及びその実施に関する事 3. 教育施設に関する調査、研究、及び統計に関する事	柴崎 駿 総括主査	古林 補佐 藤谷 主幹

<p>(学校施設関係)</p> <p>4. 教育施設の取得の申し出及び総括管理に関すること</p> <p>5. 学校の設置及び廃止に関すること</p> <p>6. 学校林に関すること</p> <p>7. 教材教具の整備に関すること</p>		
<p>1. 児童・生徒の安全に関すること(スクールバス等)</p> <p>2. 日本スポーツ振興センターに関すること</p> <p>3. 学校支援ボランティアに関すること</p> <p>4. 学校教育施策に関すること(教育広報関係)</p>	<p>清水目 唯那 主 査</p>	<p>工藤 萌 主 査</p>
<p>1. 小・中学校の通学区域の指定、変更及び廃止に関すること</p> <p>2. 児童、生徒の就学、学籍、転学及び退学に関すること 学齢簿の調査、整備及び保存、学級編成に関すること</p> <p>3. 児童、生徒の就学援助に関すること</p> <p>4. 校長及び教職員並びに児童、生徒の健康管理に関すること</p> <p>5. 教育施設に関する調査、研究、及び統計に関すること (学校基本調査関係)</p> <p>6. 学校教育施策に関すること(GIGA スクール、情報教育、校務用 PC・校務支援システム関係、共同学校事務室、大会派遣補助事業関係)</p>	<p>中村 悠貴人 主 事</p>	<p>藤谷 主幹 柴崎 総括主査 工藤 主査</p> <p>ICT 藤谷 主幹 GIGA 柴崎 総括主査</p>

○指導室

分 掌 事 務	主 担 当 者	副 担 当 者
<p>1. 学校経営及び学校教育施策に関すること</p> <p>2. 教育課程・指導要録に関すること(学校の行事調整)</p> <p>3. 学校訪問に関すること(計画訪問、学習指導、生徒指導他)</p> <p>4. 危機管理対応(いじめ、不登校、非行、虐待等) 教育相談室・SC・SSW・特別支援等との連携業務に関する こと</p> <p>5. 教職員研修全般、学力校以上に関する事務、高校入試、初 任者研修、中堅教諭等資質向上研修に関すること</p> <p>6. ALT、幼保小連携、学校運営協議会・学校評議員関係</p>	<p>向中野 純子 室 長</p>	<p>工藤 萌 主 査</p> <p>ALT 清水目 唯那 主 査</p>
<p>1. 生徒指導に関すること(教育相談室、要対協、町生指協、 SC)、学習に関すること(知能検査、CRT、心理検査)</p> <p>2. 特別支援に関すること(教育支援委員会、教振特別支援事 業、通級、医ケア)</p> <p>3. 教科用図書の採択・教師用指導書及びデジタル教科書とラ イセンス、教科書や副教材の取扱いに関すること</p> <p>4. 学校教育施策に関すること (外国語指導助手関係、学校教育関係機関との連絡調整)</p>	<p>工藤 萌 主 査</p>	<p>向中野 純子 室 長</p> <p>清水目 唯那 主 査</p>

○学校給食共同調理場

分 掌 事 務	主 担 当 者	副 担 当 者
1. 予算等庶務全般、学校給食運営委員会、給食費の徴収及び滞納整理に関すること	寺澤 いづみ 総括主幹	宮平 りつ 主 事
1. 予算等庶務(伝票起票等)及び施設の営繕・保全の計画に関すること	宮平 りつ 主 事	寺澤 いづみ 総括主幹
1. 調理・衛生指導、献立表・給食賄材料等に関すること	小坂 しげ子 栄養教諭	寺澤 いづみ 総括主幹

社会教育・スポーツ課 事務分担

課 長 玉山 順一
課長補佐 濱野 裕子

分 担 事 務	主 担	副 担
1. 予算・決算・議案・規則等に関すること 2. 運動公園の管理運営に関すること 3. 勤労青少年ホーム・青少年体育センターの管理運営に関すること 4. ボランティア活動の支援に関すること 5. 青少年健全育成に関すること 6. 庶務に関すること	中山 直樹 総括主幹	米内山 周大 主 幹 黒澤 晋一 総括主査 野坂 鳳真 主 査 貝塚 千佳 主 査 原田 悠紀 主 事
1. 屋内温水プールの事業及び管理運営に関すること 2. まかどスポーツセンターの管理運営に関すること 3. 総合型地域スポーツクラブに関すること 4. スポーツ推進委員に関すること 5. サッカー関係団体に関すること 6. スポーツ協会に関すること	米内山 周大 主 幹	中山 直樹 総括主幹 黒澤 晋一 総括主査 野坂 鳳真 主 査 貝塚 千佳 主 査 原田 悠紀 主 事
1. あったかハウスまかどの森の運営管理に関すること 2. 国民スポーツ大会に関すること 3. 青森県民駅伝競走大会の計画・実施に関すること 4. 町民体カテストに関すること 5. 子ども会育成連絡協議会事業の計画・実施に関すること	黒澤 晋一 総括主査	中山 直樹 総括主幹 米内山 周大 主 幹 野坂 鳳真 主 査 貝塚 千佳 主 査 原田 悠紀 主 事
1. 町立体育館の管理運営に関すること 2. 県小学生スキー大会の計画・実施に関すること 3. スポーツ環境の整備・充実にに関すること 4. 大会派遣費・競技スポーツ強化支援事業に関すること 5. スポーツ情報の情報提供に関すること 6. 学校体育施設の開放事業に関すること 7. 国有林(スキー場)契約に関すること	野坂 鳳真 主 査	中山 直樹 総括主幹 米内山 周大 主 幹 黒澤 晋一 総括主査 貝塚 千佳 主 査 原田 悠紀 主 事
1. 有戸地区学習等供用センターの運営管理に関すること 2. スポーツ少年団事業の計画・実施に関すること 3. 文化賞・スポーツ賞に関すること 4. 社会教育委員に関すること 5. のへじ元気講座に関すること	貝塚 千佳 主 査	中山 直樹 総括主幹 米内山 周大 主 幹 黒澤 晋一 総括主査 野坂 鳳真 主 査 原田 悠紀 主 事

1.馬門公民館の管理運営に関すること 2.生涯学習活動の情報提供に関すること 3.生涯学習大学に関すること 4.社会体育・教育団体の育成に関すること 5.家庭教育支援に関すること	原田 悠紀 主 事	中山 直樹 総括主幹 米内山 周大 主 幹 黒澤 晋一 総括主査 野坂 鳳真 主 査 貝塚 千佳 主 査
---	--------------	--

中央公民館 事務分担

館長 玉山 順一
館長補佐 濱野 裕子

分 担 事 務	主 担	副 担
1. 中央公民館の管理運営に関する事 ・開館及び閉館に関する事 ・防災体制の確立に関する事 ・モニタリングポストに関する事 2. 会議に関する事 ・中央公民館運営審議会に関する事 ・青森県公民館連絡協議会に関する事 ・上北地方公民館連絡協議会に関する事	濱野 裕子 館長補佐	野坂 洸太 総括主査
1. 公民館の管理運営に関する事 ・使用許可事務に関する事 ・行政財産の使用に関する事 ・備品の貸出、管理に関する事 ・消防訓練に関する事 2. みんなの教室の運営に関する事 ・役員会及び運営委員会に関する事 ・開講式及び閉講式に関する事 3. 文化祭実行委員会に関する事 4. 文化少年団に関する事 5. 二十歳を祝う会に関する事 6. 展示会に関する事 7. 業務委託事務に関する事 8. 館内外の清掃、整備に関する事 9. 館内外の維持補修、工事に関する事 10. 上北地方公民館連絡協議会職員研修会に関する事	野坂 洸太 総括主査	濱野 裕子 館長補佐

図書館 事務分担

館長 玉山 順一
館長補佐 濱野 裕子

分 担 事 務	主 担	副 担
1. 館務の総括に関する事	玉山 順一 館 長	濱野 裕子 館長補佐
1. 研修、その他渉外に関する事 2. 関係各機関との連絡及び協力に関する事 3. 防火・防災計画に関する事 4. 図書館協議会に関する事	濱野 裕子 館長補佐	吉田 真希子 総括主幹
1. 図書館非常勤職員に関する事 2. 子どもの読書活動推進実行委員会に関する事 3. 第2次野辺地町子ども読書活動推進計画策定に関する事 4. 上北地方図書館連絡協議会に関する事 5. 図書館要覧作成に関する事 6. 公印の保管に関する事 7. 物品購入、管理及び処分に関する事 8. 施設の維持管理及び修繕に関する事 9. 予算編成に関する事	吉田 真希子 総括主幹	濱野 裕子 館長補佐
1. 図書館システムに関する事 2. 参考業務、読書相談に関する事 3. 資料の選択・収集及び購入に関する事 4. 図書館だよりに関する事 5. 図書館のホームページ作成に関する事 6. 青森県立図書館一括借受業務に関する事 7. 学校図書館との連携に関する事 8. 図書館サークルの連絡・育成に関する事 9. 館内の環境美化及び清掃管理点検に関する事 10. 文書の收受・発送、日誌に関する事 11. 支払伝票、起票整理に関する事 12. 「広報のへじ」に関する事 13. 資料の紹介に関する事 14. 相互貸借及び共通利用券の発行に関する事 15. 図書館資料の貸出、返却、督促、閲覧に関する事 16. 配本事業及び団体貸出に関する事 17. 郷土資料及び野辺地町関係資料に関する事 18. 諸報告、統計事務に関する事 19. 図書館資料の受入れ、分類、整理に関する事 20. 蔵書データの整備に関する事 21. 予約・リクエスト・複写サービスに関する事 22. 図書館行事に関する事	吉田 真希子 総括主幹	濱野 裕子 館長補佐 会計年度 任用職員

歴史民俗資料館 事務分担

館長 玉山 順一
館長補佐 濱野 裕子

分担事務	主 担	副 担
1. 歴史民俗資料館の管理運営に関すること ・施設整備に関すること ・開館及び閉館に関すること ・業務委託事務に関すること ・館内外の清掃に関すること 2. 会議及び研修に関すること ・青森県博物館等協議会に関すること ・県史編さん市町村連絡会議に関すること 3. 野辺地町文化財保護審議会に関すること 4. 県史跡の管理に関すること 5. 国登録有形文化財「旧野村家離れ」の管理に関すること 6. 町指定有形文化財「花鳥号銅像」の管理に関すること 7. 特別天然記念物「カモシカ」の保護に関すること 8. 文化財保護基金に関すること 9. 各種団体との連絡調整に関すること	濱野 裕子 館長補佐	山崎 杏由 主 幹
1. 展示資料に関すること ・展示資料の管理に関すること ・特別展の開催に関すること 2. 資料の収集及び保存に関すること 3. 普及事業に関すること 4. 入館者の受付に関すること 5. 参考図書を購入及び整理に関すること 6. 図書有償頒布に関すること 7. 町文化財の指定に関すること 8. 埋蔵文化財の保護に関すること 9. 文化財パトロールに関すること 10. 会議及び研修に関すること ・市町村文化財保護行政担当者会議に関すること ・県埋蔵文化財担当者研修会に関すること 11. 文化財の調査活用に関すること	山崎 杏由 主 幹	濱野 裕子 館長補佐



在学青年ボランティア会「十符ヶ浦海水浴場清掃活動」



日本一小さなトンボ「ハッチョウトンボ」

令和6年度 野辺地町の教育

野辺地町教育委員会

〒039-3131

上北郡野辺地町字野辺地1番地15

野辺地町中央公民館内

TEL:0175-64-2119

FAX:0175-64-3604